

## ● 世界の主な火山活動

平成30年(2018年)5月に被害を伴った噴火が報告された主な火山(日本を除く)\*は以下のとおり。

### キラウエア(Kilauea) アメリカ(図中A) 標高1,222m

キラウエアでは、3日に長さ150mの割れ目火口から噴火し始めた。その後、複数の割れ目火口が開口し、溶岩が流れた。17日以降、爆発的噴火も発生し、ワシントンVAACによると17日04時15分頃の爆発的噴火では噴煙が9.1kmまで上昇し、北東に流れた。ニュース記事によると、イーストリフトゾーン下部地域での噴火は、29日までに53戸の家を含む少なくとも94戸の建物を破壊した。



図 平成30年(2018年)5月に被害を伴った噴火が発生した主な火山(日本を除く)\*

\* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report”(http://www.volcano.si.edu/reports\_weekly.cfm)による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁:「火山観測指針(参考編)」による。